

社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会
ボランティアセンター

〒950-0909

新潟市中央区八千代1丁目3番1号

新潟市総合福祉会館内

TEL:025-243-4370 FAX:025-248-7180

E-mail: volunteer-center@syakyo-niigatacity.or.jp

HP: http://www.syakyo-niigatacity.or.jp/

ブログ: http://borasen.blog113.fc2.com/



はたけ やま みつ こ
おむすびの会 **畠山 光子さん**



好きな言葉：思いやり。努力。
好きな食べ物：甘い物。(特に和菓子♡)
好きなこと：人と触れ合うこと。話を聞くこと。
文字を書くこと。



明るく楽しくお弁当づくり

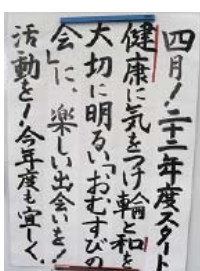
「おはようございます。今日も元気な挨拶から始まります。」

この日の献立は「和風オムライス・春キャベツの八宝菜炒め・切干し煮・果物」。約50食分を作ります。特に和風オムライスは初めてのメニューということはどうなるでしょうか？

グループに分かれて調理を開始すると、それぞれの様子を見て回る畠山さんの姿がありました。特定のグループに入って活動するのではなく、それぞれの様子を見ながら適宜アドバイスしていく「世話係」。それが畠山さんの役割なのです。

「畠山さ〜ん。」と呼ぶ声が聞こえてきます。それぞれに笑顔で丁寧に対応する畠山さん。グループの皆さんもアドバイスをもらって安心すると同時にとても嬉しそう。笑い声もたくさん聞こえます。

またホワイトボードには、畠山さんからメンバーへの一



言が貼ってあります。なんでも思いついた言葉を毎回適当に(?)書いているのだそうです。とにかくいたるところにメンバーに対する細かな気配りがなされています。なるほど、皆さんがいつも仲良く楽しそうなのは代表である畠山さんの人柄が表れているからなのですね!

「たくさんの人と触れ合いたくて。」という思いから活動を始められた畠山さん。メンバーとの会話や地域の人たちとの交流が元気をくれると言います。「皆さん良い人でも進んでやってくれるから本当に感謝しているの。これからますます一緒に楽しく続けていきたい。」と意気込みを語ってくださいました。

時間どおりお弁当が完成。その後は試食をしながらの反省会。初めてのメニューということもあり、いつも以上に活発な意見交換が行われています。これがまた次へと生かされていくのですね。

最後まで笑顔の絶えないおむすびの会の温かい雰囲気「和」を感じました。

取材：西蒲区社協 白倉

INFORMATION おむすびの会

活動日：毎週金曜日(月4回)
場所：西川健康センター(西蒲区曾根)
連絡先：西蒲区ボランティアセンター
TEL: 0256-73-3565

昼食弁当作りと配食、親睦交流会などを実施しています。
和気あいあい♡と活動しています。
料理の幅も広がり仲間もできますよ。ぜひ見学を!入会を!大歓迎です!!



自衛隊による炊き出し
と制服記念撮影



隠し味に生姜が
きいてるねえ～。

現場の きらりん

—現場の今を知る—

防災フェスタ2010

体験をとおして、楽しく防災を考えよう

日頃「防災」について意識をしていますか。当会では、市民のみなさんに防災に関心を持っていただくために「防災フェスタ」を毎年開催しています。今年も3月7日(日)、まだ肌寒い曇り空の中、中央区の市総合福祉会館にて実施しました。

今回は小さい子ども連れのご家族をターゲットにしたところ、親子連れを中心になんと1,200人もの参加がありました。このイベントは、災害時支援活動を行う、新潟市・日本赤十字社新潟県支部(以下「日赤県支部」と呼ぶ)・新潟大学災害復興科学センターとの共催で、新潟レスキューバイク隊・新潟ボランティア連絡会等、様々な機関・団体の方からスタッフとしてのご協力がなくては、実施できませんでした。

1階では、屋外に『陸上自衛隊の災害支援車輜展示・試乗』や『陸上自衛隊によるカレーの炊き出し』がありました。会館に入りますと、『陸上・海上・航空自衛隊の子供服の試着・災害支援のパネル展示』があり、小さなお子さんが子供服を着て、パパ・ママが一生懸命に写真をとっていました。炊き出しコーナーのカレーは、朝早くから自

衛隊員さんが腕をふるってつくられたので、とてもまろやかで子どもたちにも好評でした。

1階奥は『非常食体験コーナー』『ポップコーン無料配布』があり、スーパリーの試食コーナー風にデモンストラクションしてから、試食品を配布しましたが、長蛇の列でスタッフも嬉しい悲鳴をあげていました。また、非常食は、どこで販売されているのかなどの問合せをいただき、市民の皆さんの災害に関する関心の高さが伺われました。日赤県支部・NPO法人にいた災害ボランティアネットワーク等の災害時支援活動の映像を1階でみただけでしたが、災害はいつ起こるか分からない、日頃からの備えが肝心の思いを抱かれたようでした。

2階のステージイベントでは『MEGU先生とキッズダンスチームのパフォーマンス』『日赤県支部の応急手当体験』『防災グッズカードをボールプールの中から探したりする防災グッズde間違い探し』『ぬり絵・工作コーナー』『新潟レスキューバイク隊による缶バッチ作成・携帯プリントコーナー』『新潟大学災害復興科学センターの液状化実験』『新聞紙スリッパで破



防災グッズde間違い探し

キュアドリームと遊ぼう！
ゲーム大会&握手会・撮影会



MEGU先生とHIPHOPダンス

現場を元気に!!

ボランティアさん募集 キラリン!



■あいごのいえ

所在地：西区青山7丁目9 - 10

内容：話し相手、作業の手伝い、入浴後のドライヤーかけ、お茶だしなど

日時：火曜日・水曜日・土曜日

午前9時～正午（都合の良い時間）

連絡先：電話 025-267-0171

（担当：等々力）

■新潟市特別支援教育ボランティア

内容：市立学校・園で、教職員と一緒に
なって、障がいのある子どもたちの
学習・生活を支援。

活動場所：ボランティア登録時に、活動希
望の区名・学校種を伺います。

連絡先：新潟市教育委員会学校支援課

電話 025-226-3267 (担当:中川)

※ 詳細は同課ホームページでも紹介。

<http://www.city.niigata.jp/info/gakusi>

■デイサービスセンターうすい

所在地：南区白井1435番地3

内容：オセロ・囲碁・将棋・陶芸・絵手
紙・貼り絵・音楽・小旅行・花植え・
日曜大工など趣味や特技を活かし
たボランティアさんを大募集して
います。

利用者と一緒に楽しい時間を過ご
してください。

連絡先：電話 025-372-8800

（担当：伊藤）

※ このほか、新潟市ボランティアセン
ターでは、ボランティアランチなどの
各種事業、日常的なセンター運営の補
助をしてくださるボランティアさんを
随時募集しております。

お気軽にお問い合わせください。

連絡先：電話 025-243-4370

新聞紙でスリッパを作成
しよう



ぬり絵・工作コーナー

「紙ぶるる」

片（卵の殻）の上を歩こう』などな
ど、色々な視点で防災を考えました。
着ぐるみ『きらりん』や『ブラッドく
ん』も参加者のみなさんと一緒に楽し
く交流し、イベントを盛り上げていま
した。『防災』というと何人かごとの
ように思われがちですが、今回参加さ
れた方々のアンケートを見ると、日常
から防災を意識して生活しているとい
う意見も多く見られました。ただ、災
害時には『自助』『公助』『共助』のそ
れぞれが上手くいかないと円滑な支援
活動にはつながりません。年間を通し
て各区、自治会単位で行われる防災訓
練や学校、企業等で実施している訓練
に参加することも日頃からの訓練につ
ながります。『楽しみながら、体験を
とおした防災イベント』は規模に関わ
らず様々な場所で行うことが日頃から

の備えにつながります。
そして、日常的には、家具の配置や
転倒防止の見直し、逃げ道・避難所の
確認、非常持ち出し品を用意しておく
ことなどが必要です。また、ミニ懐中
電灯や非常用ホイッスル（笛）は常に
持ち歩くように心がけましょう。
新潟市社会福祉協議会は一人ひとり
の市民が、その人らしく、地域のなか
で安心していきいきと暮らすことで
きるまちづくりを目指していますので
、何かありましたら、お気軽にお声
掛けください。
最後になりましたが、本事業開催に
あたり、ご尽力いただきました、各機
関・団体の皆様には厚くお礼申し上げ
ます。



応急手当体験（日赤県支部）

〈報告者〉

新潟市ボランティアセンター

志田 英男

訪問ライブします♪♪

さだまさし、かぐや姫、中島 みゆき等の懐かしいフォークソングを中心に歌と演奏を楽しんでいる「スケアクロウ」です。ギター（2名）、キーボード、ベース、ドラムの5名で活動しています。福祉施設等でのボランティアライブの依頼をお待ちしております。

〈内容〉 30分～60分のライブ。フォークソング等。リクエストがあればご相談に応じます。

〈対応可能日〉 日曜日・祝日（月1回程度）

〈受付可能地域〉 新潟市全域

〈お問い合わせ〉 依岡 ^{よりおか} yorioka@ai-create.co.jp

一緒に社交ダンスをしませんか

夢のダンス「古郷（ふるまち）の会」

ダンスボランティア「夢のダンス」の講習を受けた安心・安全な社交ダンスボランティアグループです。「夢のダンス」は、車イスの方も参加でき、社交ダンスの持つ明るさ・楽しさ・ダンス音楽を楽しみながら、入所者の皆さんと手をつなぎ、一緒にリズムに乗り、時として忘れていた笑顔が戻り、心身の活性化が図られる活動です。皆さんの笑顔が見たいから、「古郷の会」が訪問します。

〈お問い合わせ〉 夢のダンス新潟友の会

「古郷の会」代表 樋口 昭彦

TEL：090-1037-0823 FAX：025-228-4061

💰 助成

みずほ教育福祉財団 第27回（平成22年度） 「老後を豊かにするボランティア活動資金」

〈助成対象〉 ①地域の活動で内容が先駆的かつ他の範となるもの
②今日のニーズに対応した内容で継続性の高いもの
③活動の方法に工夫がみられ、他に普及したいもの
(ボランティア数要件と活動実績要件があります。)

〈助成金額〉 1グループ10万円を限度

〈受付期間〉 平成22年5月末日まで（必着）

〈お申し込み・お問い合わせ〉

財団法人 みずほ教育福祉財団 福祉事業部

TEL：03-3596-4532 FAX：03-3596-4531

〈詳細〉 下記ホームページをご覧ください。

応募要領・申込書をダウンロードできます。

<http://www.mizuho-ewf.or.jp>

第22回「わかば基金」

〈助成対象・助成金額等〉 支援金贈呈の部とリサイクルパソコン贈呈の部とがあり、それぞれ異なります。

〈受付期間〉 平成22年5月21日（金）（必着）

〈お申し込み・お問い合わせ〉

社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団

（東京本部）

TEL：03-33476-5955 FAX：03-3476-5956

〈詳細〉 下記ホームページをご覧ください。

応募要領・申込書をダウンロードできます。

<http://www.npwo.or.jp/wakaba>

第33回「24時間テレビ」福祉車両寄贈

〈助成対象〉 社会福祉法人・地方公共団体・NPO法人・任意団体（非法人）・ボランティア団体・医療法人・学校法人・民法法人（社団・財団）など

〈助成内容〉 希望する福祉車両・電動車イスを選んで申し込み。

〈受付期間〉 平成22年5月20日（木）（当日消印有効）

〈お申し込み・お問い合わせ〉

「24時間テレビ」チャリティー委員会事務局

福祉車両寄贈申込係

TEL：03-6215-3008



ゆずります！

～福祉施設等が対象です～

※5月末日までにお申し込みください。

■編み笠（16個）

■電動ミシン（1台）

■大人用紙おむつ・尿とりパッド など

■NEC FAX用インクフィルム（スピークス用）

■Canon インクカートリッジ黒・カラー・詰め替え用

■EPSON インクカートリッジ黒・カラー

■ポータブルトイレ1台

■ガチャ玉（小）100発



ゆずってください！

福祉施設等で必要です

■自走式車イス

■介助用車イス

■カラーBOX

■書棚

5 あなたの 月の 要チェックリストは？



📖 平成22年度 第1回点訳技術初心者講習会

- 〈日時〉 5月23日(日)から7月25日(日)までの毎日曜日
いずれも13:00~16:00
- 〈会場〉 新潟市総合福祉会館 5階503会議室
(中央区八千代1丁目3番1号)
※公共交通機関をご利用ください。
- 〈対象者〉 点訳奉仕活動を志す一般社会人(学生は不可)
- 〈定員〉 20名(申し込み順に定員まで)
- 〈参加費〉 2,500円(用具・テキスト代)
- 〈内容〉 全日程の受講が原則ですが、欠席者には補講があります。
- 〈主催・申し込み〉 電話にて
NPO法人 点訳グループ新潟点燈虫
TEL:025-387-6580(平日 17:00~20:00)

📖 保育サポーター養成講座

～それいけ！パパ・ママ応援隊～

- 保育サポーターは、子育て中のパパ・ママの大きな味方です。この機会にあなたにできる子育て支援の大きな第一歩をふみ出してみませんか？
- 〈日時〉 6月2日・9日・16日・23日・30日
いずれも水曜日、最終日の日程は未定
(全6回) 10:00~12:00
- 〈会場〉 豊栄地区ふれあいセンター 研修室
(北区東栄町1丁目1番18号)
- 〈対象〉 保育に興味がある方・育児が好きな方
※お子さま(生後6ヶ月~未就園児)の保育があります。
要予約(定員6名、5月21日(金)までにご連絡ください。)
- 〈定員〉 20名(定員になり次第締めきり)
- 〈参加費〉 無料(保育料は1日300円)
- 〈内容〉 保育とは何か 保健師さんのお話 応急手当方法 など...
- 〈主催・申し込み・問い合わせ〉
北区社会福祉協議会
TEL:025-386-2778 FAX:025-388-2914

📖 英語点訳講座

- 〈日時〉 5月25日(火)から10月12日(火)までの
毎月第2・第4火曜日
いずれも13:00~15:00
- 〈会場〉 新潟市総合福祉会館
(中央区八千代1丁目3番1号)
※公共交通機関をご利用ください。
- 〈対象者〉 点訳奉仕活動を志す一般社会人・学生
- 〈参加費〉 月1,000円 合計5,000円
- 〈内容〉 初心者を対象とした英語点訳者を養成するための講習会を行います。
- 〈主催・申し込み〉 電話にて
水都の会 木伏
TEL:0250-23-4503

📖 平成22年度傾聴ボランティア講座 中級編

～実践的なスキルを身につけよう！！～

- 〈日時〉 ①6月1日(火) ②同15日(火) ③同28日(月)
(3回シリーズ) ①・②13:30~16:00
③のみ13:30~16:30
- 〈会場〉 東区中地域保健福祉センター 2階検診室
(東区松島2丁目4番7号)
- 〈定員〉 30名 (締め切り) 5月25日(火)
- 〈参加費〉 300円(資料代・保険代)
- 〈講師〉 NPOころネットワーク 遠藤 道子さん
- 〈内容〉 ①エゴグラムで自分を知ろう!!
②アサーション・感情表現法をまなぼう
③ストローク・交流分析をしてみよう
- 〈主催・申し込み〉 電話・メール・FAX等にて
東区社会福祉協議会 ボランティアセンター
TEL:025-272-7721 FAX:025-272-1756

📖 ①手話奉仕員養成講座入門課程講座 ②初級点訳者養成講座

- 〈日時〉 ①:5月25日(火)~
②:5月16日(日)~
- 〈会場〉 ①:秋葉区新津健康センター(秋葉区程島1979番地4)
②:新津地域交流センター
(秋葉区新津本町1丁目2番39号)
- 〈参加費〉 ①:1,200円(テキスト代)、300円(懇親会費)
②:800円(テキスト代)
- 〈申し込み・問い合わせ〉 秋葉区ボランティアセンター
TEL:0250-24-8376 FAX:0250-23-3322

ボランティアグループ紹介

かわいいボランティアさん

INFORMATION

代表：目黒 淳子園長
会員数：園児33名
(平成21年度)
活動日：毎月第3水曜日
活動場所：早通北保育園
連絡先：北区社会福祉協議会
TEL：025-386-2778



ボランティア
グループ
紹介
043

早通北保育園 年長組

「はくちようぐみ」の配食ボランティア活動は15年前、当時の園長先生の「核家族が多い、うちの子どもたちに異世代交流をさせたい」という希望から始まりました。

毎月第3水曜日、社協の給食サービスの日に合わせて活動しています。歩いて10分程度のお宅まで6〜7人の園児を担当の先生と地域の主任児童委員が引率します。当初3軒だった訪問先は、現在は1軒になりました。その分、ゆつくりと交流ができています。

お弁当を手渡して、歌やお話・折り紙と一緒に楽しんだり、その場で指パッチンや点字で名前を打ってもらったりと、園児たちは大喜びです。訪問先が、視覚障がい者のお宅ですが、「特別視しないで私を自然に受け入れてくれる、子どもたちの優しさが嬉しいですね。」と喜んでおられました。

先生方からは、園外の人と関わり相手を思う気持ちが芽生え大変良い活動だと思ってくれています。園児たちも初めはドキドキですが、みんな行くのを楽しみにしているとのことでした。子どものうちに、障がい者と自然に出会う環境は園児にとって忘れられない体験になっているようです。

INFORMATION

代表：波田野 松重
会員数：約60名
活動日：月1回(日曜日)と
随時事業により
活動場所：
下山校区内及び
中地区コミュニティセンター
連絡先：東区社会福祉協議会
TEL：025-272-7721



★
心を一つに活動したい!!
★

東区社会福祉協議会 下山地区福祉活動実行委員会

ボランティア
グループ
紹介
044

下山支会の活動は、友愛訪問、ふれあい給食、世代交流等です。ボランティアは、約60名で、町内会長、民生・児童委員の協力を得ながら和気あいあいと活動しています。

友愛訪問は、民生・児童委員協議会のご協力にて、70歳以上の一人暮らしの方を対象に実施しております。訪問の折に様々なお話を伺うことができ、心待ちにしています、との声も頂いています。

給食では、75歳以上の高齢世帯で、希望する人に10月〜3月まで月1回、温かな手作りのお弁当をお届けしています。女性ボランティアは、毎回のメニューの作成、買い出し、調理を担当し、男性ボランティアは、配食と集合給食に來られる方々の送迎を担当しています。また、弁当には下山小学校6年生からの手紙がそれぞれに添えられていて、ほっとした笑顔と潤いも一緒に届けて貰っている。と感謝されています。卒業時には「感謝のカード」を作ってお返しをしています。

世代交流は、地域の商工会主催のお祭りに「昔の遊び」で協賛し、12月のふれあい給食では、三世代交流を行い、地域の方々や子どもたちとの交流を図っています。

新潟市内ボランティアセンター&社協 3行インフォ



市 VC

新潟大学新1年生60人にボランティアのイメージについて聞いてみました。「社会福祉協議会があることを初めて知りました。」「ボランティアのイメージって、人と人がふれあうこと、温かさが伝わること、笑顔、自己成長」「気軽に、自然に活動したい。」

TEL 025-243-4370 FAX 025-248-7180 中央区八千代 1-3-1 新潟市総合福祉会館 1階

北区

今年度第1弾のボランティア講座は、「音声訳入門講座」です。これは、視覚障がい者に対する情報提供をするための技術取得ができる講座になっております。日時は、5月19日、6月2日、16日午後1時半から3時半までの全3回です。

TEL 025-386-2778 FAX 025-388-2914 北区東栄町 1-1-35 豊栄さわやか老人福祉センター内



東区

東区ボラセンは6月に傾聴ボランティア中級編の養成講座を開催します。より実践的な知識と技術を身につけませんか？日程は6月1日(火)・15日(火)・28日(月)です。詳しい内容については東区ボラセンまでお問い合わせを★お待ちしております(∩_∩)／

TEL 025-272-7721 FAX 025-272-1756 東区松島 2-4-7 東区中地域保健福祉センター内

中央区

総合福祉会館2階で毎月第3金曜日の午前中10時～12時開催している都市型☆子育てサロン。ぽかぽか陽気になってお出かけしたくなってきたみなさん、少しのぞいて遊んでいきませんか？保育ボランティアさんと一緒に待ってま～す！

TEL 025-243-1209 FAX 025-248-6633 中央区八千代 1-3-1 新潟市総合福祉会館 3階



江南区

江南区に春の訪れを告げる「江南区ふれあい・ささえあい交流事業 第13回 ふれ愛さくらまつり」は今年も盛況のうちに終えることができました。例年多くのボランティアさんの協力があって、たくさんの方の力を借りて年々パワーアップしているように思います。

TEL 025-385-4321 FAX 025-385-3773 江南区横越中央 1-1-2 老人福祉センター横雲荘内

秋葉区

手話5月25日～・点字5月16日～・音声訳6月12日～初級講座が始まります。参加費も無料から1,500円と大変参加しやすくなっています。是非！この機会に手話・点字・音声訳に挑戦してみませんか？詳しくは秋葉区ボランティアセンターへ(*^_^*)

TEL 0250-24-8376 FAX 0250-23-3322 秋葉区新津本町 1-2-39 新津地域交流センター 2階

南区

あちこちで田植えも真っ盛りですが、これから南区では6月にある大風合戦の準備でまちが慌ただしくなります。昨年度は南区訪問介護センターで大風を揚げてもらいましたが、今年は南区社協として「きらりん大風」が揚がる予定です。ぜひ一度見に来てください！

TEL 025-373-3223 FAX 025-373-6125 南区白根 1132-1 老人福祉センター白寿荘内

西区

今年度、西区ボラセンでもボランティア受入施設交流会を開催します。(6月下旬の予定)。ボランティアを受け入れている(受け入れたい)施設の担当者の皆さん、ぜひご参加ください。顔の見えるつながりをつくりましょう！詳細が決まったらご案内しま～す！

TEL 025-211-1630 FAX 025-211-1631 西区寺尾西 1-1-5

西蒲区

今年度も区内の学校から福祉教育・体験学習についての依頼が続々と寄せられています♪たくさんの学校・地域の方々と交流できるきっかけにもなるので、ワクワクしながら取り組んでます♡魅力的な体験プログラムを一緒に作りましょう！お気軽にご相談ください。

TEL 0256-73-3565 FAX 0256-73-4914 西蒲区巻甲 4363 巻ふれあい福祉センター内

私の体験記「ボランティア活動を体験しました!!」

伊藤 輝・山田 秋子

※写真は、ボランティアランチでの活動中の様子です。



西区社会福祉協議会の「ボランティアはじめの一步〜入門講座〜」を受講し、2か所でボランティア活動体験をさせていただきました。1か所目は福祉施設の「スペースBe」さん、各種印刷物の注文なども承っているとのこと、スタッフの皆さんが真剣に作業しておられました。

私たちも、点字の名刺作りに挑戦。一字ずつ名前を点字で刻み、出来上がった自分の名前の点字部分を指でなぞり、達成感に浸った瞬間でした。スタッフの皆さんと色々話をすることもでき、貴重な2時間でした。

2か所目は、講座修了後に本部ボランティアセンターでボランティアランチを作られている所におじゃましました。素晴らしいフットワークで、手早く作業されているのが、印象的でした。私たちも及ばずながら、りんごの皮むき、おはぎ作り(この日は三色おはぎ)の手伝いをさせていただきました。季節に合わせた献立で、バランスの良い副菜がお弁当に詰められていく様子を見て、家族のためにしか作ったことのない私にはただ驚くばかりでした。意義ある時間を皆さんと共有できたことに感謝しております。そして、今後は自分自身を高めるためにも、ボランティアとして一歩を踏み出そうと思っております。

編集後記

毎月出させていただいているこの「きらりん」ですが、ボランティアが人事異動で別部署に行ってしまった、新しく来た私が担当することになりました。



こういうものを作るセンスが欠けているので、今後の発行が非常に不安ですが、多くの皆さまのお力をお借りしながら、ボランティアの時よりもすばらしい「きらりん」になったと言われるようなものにしていただけると、思っております。

ボランティアさん、とりあえずお疲れ様でした。これからもよろしく願います。



新潟大学ボランチ。もみじさん作

この情報紙は、毎月初旬に新潟市内の各区社会福祉協議会のほか、公共施設などに配置しています。

ボランティア情報にいがた きらりん 発刊の辞
私たちの生活の周りには、はつきりと見えないうれれど大切なものがあります。それって何なの？現場を探索し、市民にとって実用的なボランティア情報誌を発行します。